

SORA

web magazine 2014.feb. vol.30

日本人には、まだ馴染みのない海、豪州の South West Rocks。
少しの情報を頼りにやってきたが、来てみてビックリ！
おっかない顔をしたサメたちがたくさん群れ、
また大きなエイや見慣れない生き物たちの宝庫だった。
新しい刺激を求めて、さっ旅に出よう！

PHOTO & TEXT : YASUAKI KAGII

MAP
CLICK!

サウスウェストロックス

天然のサメプール！

SOUTH WEST ROCKS

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2012
World Tour Planners Co.,Ltd.
All Rights Reserved.



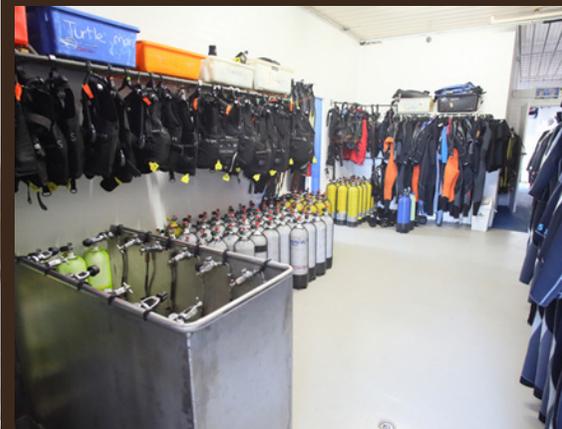
S 驚き SURPRISE



サウスウェストロックス SOUTH WEST ROCKS

オーストラリアの東海岸に位置するSouth West Rocks。グレートバリアリーフや西海岸のエクスマスなどが、日本人ダイバーにはお馴染みになったオーストラリアにありながら、ほとんど名前を聞かなかった小さな町。シドニーから国内船に乗り、北上すること約1時間。コフスハーバーという町まで行き、そこで送迎車にピックアップされて、南に100km。約1時間のドライブ。牧歌的な景色を眺めていくと、South West Rocksという小さな町に到着した。今回、お世話になるダイビングセンター兼宿泊施設のSouth West Rocks Dive Centreに行く前に、ちょっとリトル・ベイと呼ばれる海岸線に行く。いくつかの家族が休日を楽しむようにテントを張ったのんびりした空間に、たくさんのカンガルーがいた。私が少し近づくと、みんな首を上げて、こちらを見る。中には、お腹のポッケに子どもを入れているカンガルーの親子もいる。本当にあそこに入っているんだ、と感心しながら、カメラのシャッターを切った。野生動物が生活空間の中に当たり前にいる。それもカンガルー。South West Rocksという小さな町に到着してすぐに、なんとなく不思議な世界への入り口に立ったような気がした。





翌日、8時にダイビングセンターに向かった。前日にナイトロックスを3本用意し、水中カメラなど準備も万端だった。ダイビングセンターの前に横付けされている大きなダイビングボートにタンクなどの機材がどんどんと積み込まれる。取材時期が、6月の後半なので、水温は20℃とのこと。用意した5mmのウェットスーツ+フードベストではなく、7mmのセミドライスーツをレンタルした。それを下半身まで来て、ボートを引っ張る車に乗り込んで、港まで7分ほど。小さな港でダイビングボートをおろす景色の中に、釣りを楽しむ老夫婦とふたりを取り巻くペリカンの群れがいた。朝の優しい光の中で、ほんわかとする光景があった。前日のカンガルーと言い、今朝のペリカンの群れと言い、私たちにとって、見慣れない生き物との距離が近い。それがとても羨ましく思えた。

0 海 OCEAN

今回の旅の目的は、サメ、サメ、サメ！ フィッシュロック・ケープと呼ばれる洋上に浮かぶ大きな1枚岩のダイビングポイントでは、怖い顔をしたサメにたくさん会えるという。エントリーして潜降すると水深20mあたりの海底に大きな影が見える。イソマグロなどを真上から見たような感じだが、明らかにサイズが違う。それは、エントリーして数分後の出来事。「もう会っちゃった…」。いることは分っていたけれど、まだ心の準備が整っていなかった…。ゆっくり海底に落ちたって周りを見渡す。幅5mほどの白い砂地がまっすぐ伸びていて、その両サイドは岩礁になっている。目の前には10匹ほどのシロワニが泳いでいる。砂地の上のシロワニは良く見えるが、岩礁が背景になっているシロワニは少し見づらい。よく見ると20匹近くはいる。息を潜

めて、接近する。いつもならもっと上手くお魚たちに接近できるのに、なんだか、バタバタしている。シロワニというおとなしい性格のサメだとわかっているけど、2~3mサイズのサメが目の前や頭上を通過していくのだから、やはり普通ではられない。ガイドさんも同行してくれているが、私がカメラマンだということで、少し後ろから見守っているだけ。前を向けば、なんだか、ひとりぼっちでサメに囲まれている気分になる。後で考えてみれば、こんなに素敵な体験はないし、またまだほとんど日本人には知られていない貴重な体験をしているのだから、こんなに嬉しいことはない。と思うけれど、海中に居る時は、やはり緊張していた。それから約3日間、私はこのフィッシュロック・ケープに潜り、怖い顔をしたサメたちと時間を重ねた。

サウスウェストロックス
SOUTH WEST ROCKS

0 海 CEAN

サウスウェストロックス

SOUTH WEST ROCKS

連日、たくさんのシロワニに囲まれて撮影した。このあたりはフィッシングが盛んで、まるでパンクロッカーのように釣り針を頬からぶら下げているシロワニも結構いた。お世話になったSouth West Rocks Dive Centreのピーターは長年、ここでのフィッシングは止めて欲しいと行政にお願いしているようだが、うまく進んでいない。釣り針を付けたシロワニや生殖器を確認しながら、「オス、メス」、この個体は少し小さいなど、思いながら撮影を続けた。シロワニは夜行性で、昼間は寝ながら泳いでいると言われている。夜になるとあの鋭い歯でハンティングをするのだ。時には、頬擦り出来そうな距離でストロボを何度か浴びせながら撮影をする。一度、そのストロボの光に反応したのか、サメが「びくっ!」と体をのけ反り、少し距離の離れた場所でもまたのけ反っていた…。あれは怖かった…。また、すれ違った瞬間。水の流れを通して、サメに触れたような感覚になる。その時もやはり、ドキっとした。と、怖い思いばかり書いたが、なかなか出来ない貴重な体験。餌付けされたサメではなく、野生のサメに囲まれるのだ。たぶん、傍から自分がどんだけサメに接近していたのか、見る機会があれば、またそれに驚くに違いない。



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく

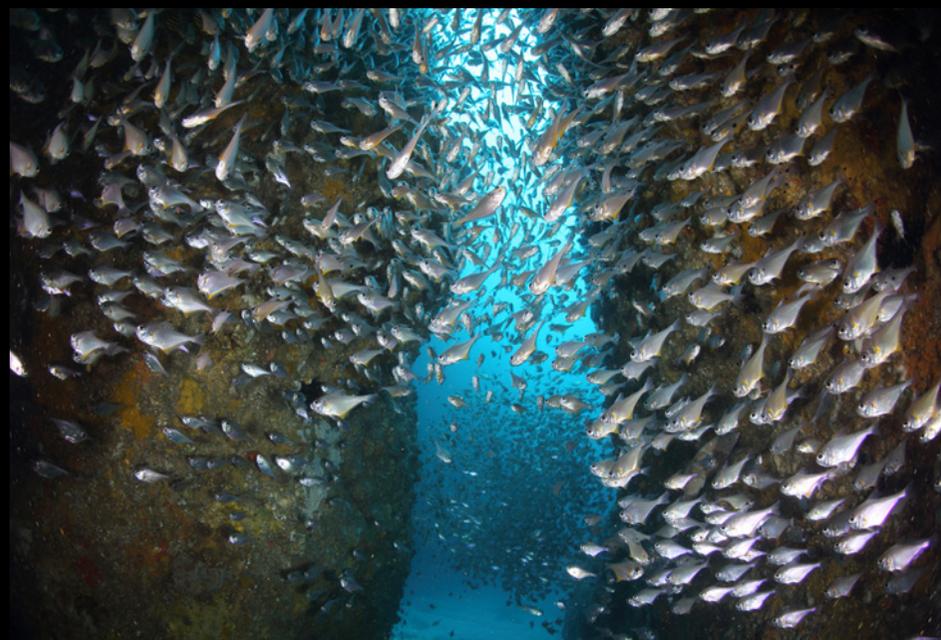
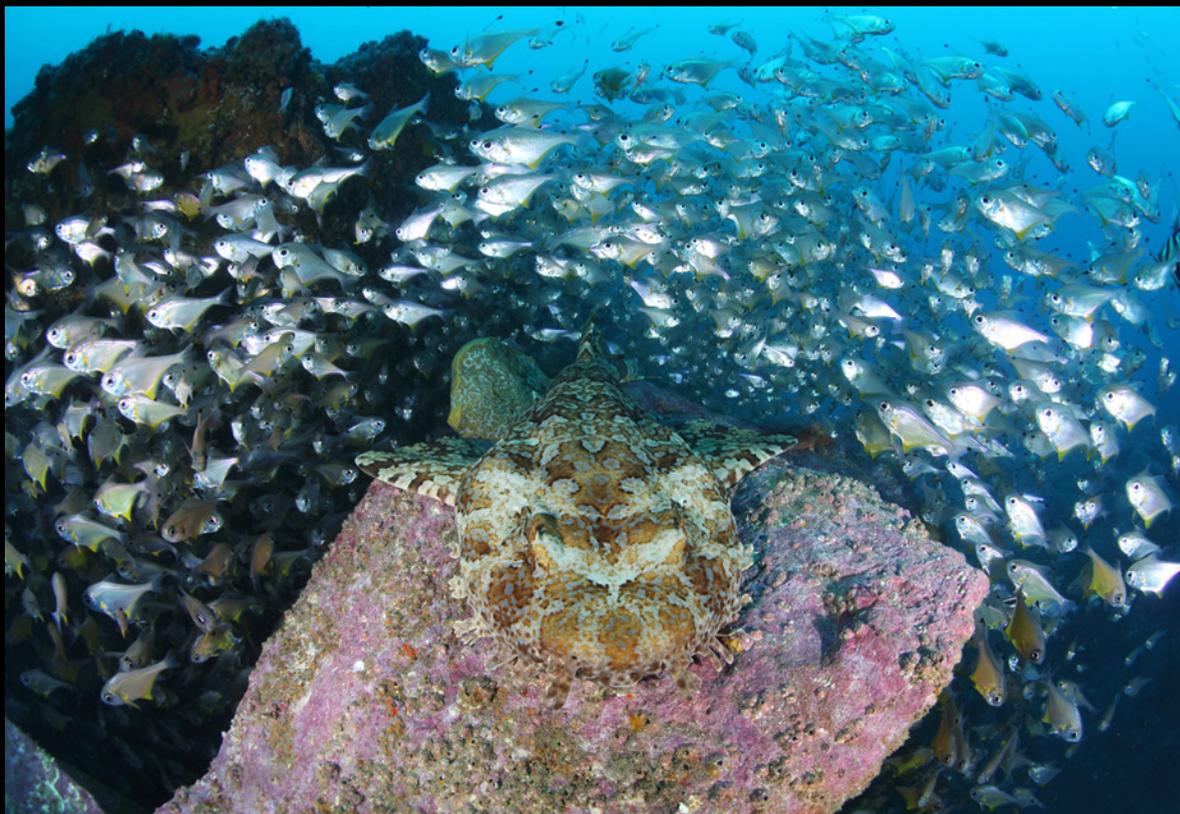
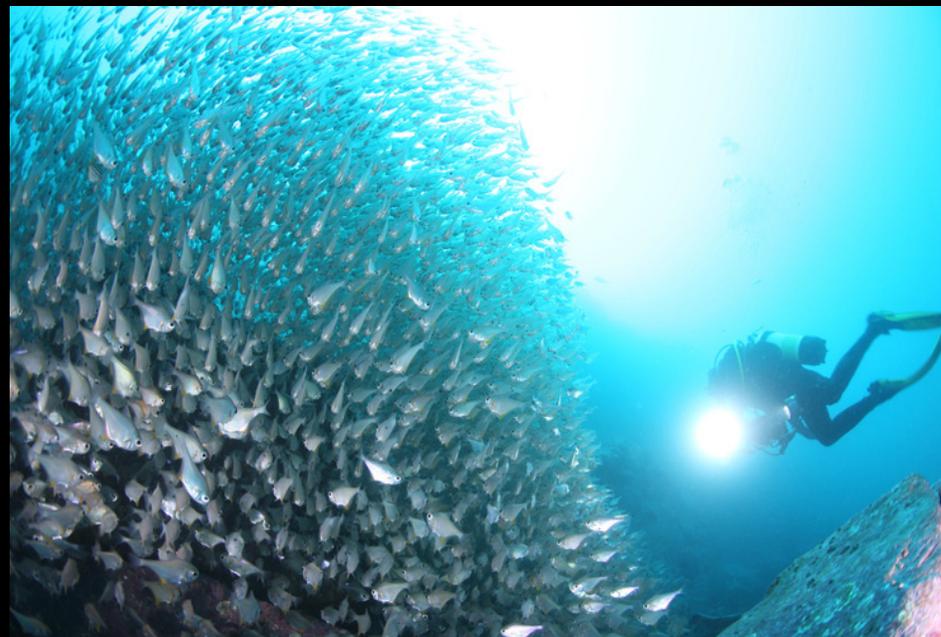


0 海 CEAN

サウスウェストロックス

SOUTH WEST ROCKS

また、フィッシュロック・ケープの周囲には、5つほどのダイビングポイントがある。中でも人気なのが、1枚岩の中心を通るケープで、水深24mの入り口から侵入し、チムニーと呼ばれるトンネルを垂直に上り、そして、天使の窓と呼ばれる水深10mの出口まで進んでいくコースがある。中は狭く真っ暗なので、興味のある方にしかお薦めしないが、中には、オオセが寝ていたり、ミナミハタンボが群れていたり、ロブスターやセミエビ、そして、この辺りでは20匹ほどしか確認されていないブラックコッドも穴の住人である。そして、ハイライトはこのケープの出口・天使の窓に、11~12月になるとシロワニが入ってくる。水温の変化で、ケープの中にたくさんのサメが入ってくると言われているが、それは、1年間でたった2か月しか見られない世界的に見ても稀有な光景だ。



0 海 CEAN



サウスウェストロックス SOUTH WEST ROCKS

South West Rocksの人々と野生の生き物との関係で素敵だと思ったのが、もうひとつあった。それは、ダイビング行き帰りの見かけたザトウクジラだった。5月～11月にこの辺りに周遊してくるザトウクジラの親子。ダイビングポイントで係留していても、すぐ近くで潮吹きなどが見ることができた。初日のダイビングの帰りは、何度も繰り返すブリーチングに立ち会えた。もっとも良かったのが、ダイビングセンターのスタッフやガイドの反応だった。「なんとなく、いるのが当たり前」という雰囲気、船をすごく接近させるわけでもなく、全然、クジラたちにストレスを与えない距離で私たちに披露してくれた。クジラから船に接近してきたときは、本当なら水中撮影をしたい！と考えるけれど、オーストラリアでは、そのような撮影が禁止されている。そんなことよりも、「この時期になって、クジラがまた帰ってきて、良かったね」くらいの心地良さで、生活に溶け込んでいる感じに好感が持てた。素晴らしい環境だと思う。



サウスウェストロックス
SOUTH WEST ROCKS



0 海
CEAN

ダイビングが出来た3日間。マクロの生き物を観察しようとしたければ、やはり意識がサメに行ってしまう。海中に居て、さっと辺りを見渡してまず目に付くのがストライプのお魚。そして、とにかくダイバーの後を付いてくる、ブルーグレーパーというお魚。ガイドのアルバートが、ウニを持つと、凄いい音を鳴らして食べ始めた。食欲旺盛なお魚だった。また、水温が低いわりに、チョウチョウウオやキンギョハナダイの姿もちらほら、ケープの出口辺りにある潮当たりの良いアクアリウムというポイントでは、マダラトビエイやマダラエイ、タイマイなどが見られる。また根の上の方では、ウミウシなども見られる。グレートバリアリーフから海流の影響を受けるこの海域では、約200種類の魚類が見られるという。



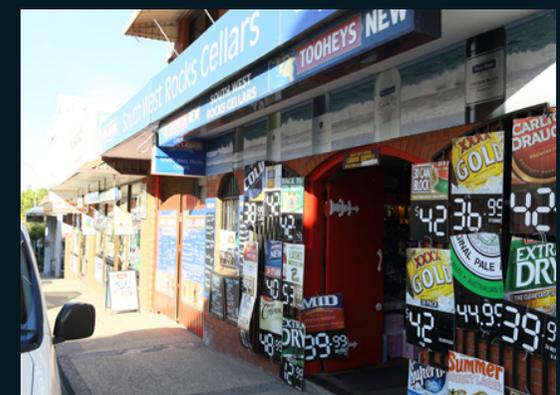
サウスウェストロックス SOUTH WEST ROCKS



ロマンス ROMANCE

アフターダイブ。ダイビングの後は、色々
と観光をするところもある。

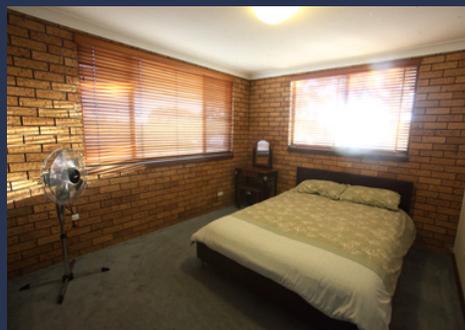
スモーキーケイ・ライトハウス(灯台)に行くと、ダイビングポイントであるフィッシュロック・ケープやブラックロック、グリーンアイランドが一望でき、時には回遊しているザトウクジラの姿を見つけることができる。また、リトルベイで、カンガルーを見たり、オーストラリアで最初にできた刑務所なども岬の先端にある。小さな町の中心地には、サーフショップやお土産物屋さん、スーパー、リカーショップ、チャイニーズレストラン、タイレストランなどがある。その中心地に隣接するメインビーチの雰囲気もまた良くて、余生をのんびりとこんな景色の中で過ごしたいと思わせる場所だった。宿泊施設のほとんどが、キッチンの付いているアコムレーションで、スーパーなどで食材を買ってホームパーティーをするのも楽しいかもしれない。



A 行動 ACTION

South West Rocks Dive Centre

陽気で優しいオーストラリア人のピーターとケビンがオーナーのダイビングセンター。South West Rocksに2軒しかないダイビングサービスの軒で、大きなダイビングボートを3隻所有。レンタル機材なども豊富で充実している。1日2ダイブが基本で、リクエストベースで3ダイブも行っている。基本的に安全管理のために、全てナイトロックス(無料)でダイビング。ナイトロックスのライセンスのないダイバーが、コンピューターはエアのまま、ナイトロックスでダイビングを行う。ダイビングセンターには、2タイプのアコモデーションが併設されている(朝食付き)。



サウスウェストロックス SOUTH WEST ROCKS

宿泊先:

プライベートアコモデーション(HOUSE PRIVATE)
ダイビングセンターの隣の建物に2階。友人宅にお招きされたような空間が◎。



ロッジ: ドミトリー (LODGE-DOEM)

ダイビングセンターの2階にある宿泊施設。2段ベットの部屋などバッカバッカー用に作られた施設。



ツーリストパーク

ダイビングセンターと町の間にあるリゾート施設。リゾートとしての施設は充実。

